

## 第 2 学年 英語科学習指導案

### 1 単元名 PROGRAM 7 If You Wish to See a Change(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

本単元では、1992 年地球環境サミットで子供の環境団体の代表としてスピーチを行い、現在も環境保護活動等に取り組んでいるセヴァン・カリス＝スズキさんのメッセージを扱う。国際理解の大切さを訴え、世界が抱える環境や貧困の問題の解決に向けて行動を起こす必要性を説く彼女の思いを英語のスピーチから読み取り、それを基にグローバル社会において今後どのような生き方していくべきかについて考えたことを英語で表現させることに挑戦させたいと考える。

言語材料としては、〈動名詞〉、〈look＋形容詞〉、〈become＋形容詞〉、〈主語＋動詞＋人＋もの〉が新しく紹介されている。

##### (2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に英語学習への関心が高く、多くの生徒が基礎的な学力を身に付けている。4 月に実施した NRT テストでは、読むことと書くことの観点で全国比より高い結果であった。また、ほとんどの生徒がペアやグループでの学習活動に協力して取り組んでいる。

一方、1 学期前半に実施した単元ゴールの英作文では、教師が提示するモデルに類似した英文を用いた作品が多く、生徒の発想力を鍛え、語彙を豊かにする必要性を感じている。また、全体の前で文法や発音ミスをするのを怖がり、自分の意見や考えを伝えることに抵抗がある生徒が多いことも解決していくべき課題である。そこで、自分の考えを英語で表現することに慣れさせ、学習課題を達成する喜びを味わわせ自信を付けさせたいと考え、英語を使って解決する必然性がある言語活動に取り組ませている。生徒はペアで協力しながら、学習課題の達成に向けて熱心に取り組み、内容にも工夫が見られるようになってきた。今後も継続して取り組ませると同時に、生徒の表現力を高めるために、インプットの量や質について改善を加えたり、情報や考えを整理して発信する学習活動を設定したりする必要があると考える。

##### (3) 指導観

今学期のプロジェクトゴールは「スピーチをしようーこんな人になりたい」である。そこで、本単元では、「情報を的確に読み取る力」と「説明する力」の育成に力を入れたい。そのために、知り得た情報や自分の考えを整理し、分かりやすく人に伝える学習課題に取り組ませることとし、単元ゴールを「未来へのメッセージ～What can we do for the earth?～」とした。単元ゴールの達成に迫るために、セヴァンさんや環境保護の話題を、より身近なものとして捉えさせる必要がある。そこで、教科書には書かれていないセヴァンさんの生い立ちに関する情報を提示して読み取らせ、その情報を基に彼女がなぜこのような考えに至ったのかについて考えさせたり、自分の考えを構築させたりする機会を設けたい。生徒の内容理解を助け、学習内容と自分自身とを関連付けて捉えさせるために、ビジュアル教材の効果的な活用や、Teacher Talk の内容の工夫にも取り組みたい。また、インフォメーションギャップのある言語活動を設定し、読んで理解した情報を整理し、伝え合わせることで表現力の育成を図りたい。グループで協力して情報を理解させたり、伝える内容を検討し合わせたりする時間を設定することで、どの生徒も安心して学習活動に取り組むことができると考える。学習活動の前後

にルーブリックを活用することで、生徒がより高い目標をもって活動に取り組むこともねらいたい。

### 3 単元の目標

- (1) ペアやグループでの活動において、習った表現を駆使しながら自分の考えなどを伝えようとしている。
- (2) 本文の内容について、メモを参考にしながら概要を相手に英語で伝えることができる。
- (3) セヴァンさんの生き方についての内容や本文の情報を的確に読み取ることができる。
- (4) 動名詞、look＋形容詞、become＋形容詞、主語＋動詞＋人＋ものを用いた文の形・意味・用法を身に付けている。

### 4 評価規準

#### 【現行の評価の観点による評価規準】

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① ペアやグループでの活動において、習った表現を駆使しながら自分の考えなどを伝えようとしている。	① 本文の内容について、メモを参考にしながら概要を相手に英語で書くことができる。	① セヴァンさんの生き方についての内容や本文の情報を的確に読み取ることができる。	① 動名詞、look＋形容詞、become＋形容詞、主語＋動詞＋人＋ものを用いた文の形・意味・用法を身に付けている。

#### 【新しい評価の観点による評価規準】

※新学習指導要領の評価の観点で示した。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 動名詞、look＋形容詞、become＋形容詞、主語＋動詞＋人＋ものを用いた文の構造を理解し、適切に話したり書いたりしている。	① 本文の内容について、メモを参考にしながら概要を相手に英語で伝えている。 ② セヴァンさんの生き方についての内容や本文の情報を基に、自分の考えを構築し、英語で表現している。	① ペアやグループでの活動において、習った表現を駆使しながら自分の考えなどを伝えようとしている。

※ 佐賀県教育センター「プロジェクト研究（中学校英語科教育研究委員会）」の試案である。

### 5 単元計画（全9時間 本時8/9）

次 時	評価規準と評価方法	学習活動
第一次	<p>【評価規準】</p> <p>アー① ペアやグループで協力して、自分の考えを主体的に伝えようとしている。</p> <p>エー① 「～すること」という表現を用いて、最近楽しんでいることを書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～すること」を使った表現をペアで練習する。</li> <li>・最近楽しんでいることは何かを英語で表現し、ペアへ伝える。</li> </ul>

		<p>【評価方法】 ワークシート 活動の観察</p>	
	2	<p>【評価規準】 アー① ペアやグループで協力して、自分の考えを主体的に伝えようとしている。 エー① look＋形容詞の表現を用いて、写真の中のものの様子を描写することができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート 活動の観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ look＋形容詞の表現を、ペアで練習する。</li> <li>・ 見た目から分かる友達の気分とその理由を推測し、英語で表現する。</li> </ul>
	3	<p>【評価規準】 アー① ペアやグループで協力して、自分の考えを主体的に伝えようとしている。 エー① 主語＋動詞＋人＋ものの表現を用いて、夢の誕生日プレゼントは何かを書くことができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート 活動の観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主語＋動詞＋人＋ものの表現を、ペアで練習する。</li> <li>・ 夢の誕生日プレゼントは何かを英語で表現し、ペアへ伝える。</li> </ul>
第 二 次	4	<p>【評価規準】 ウー① セヴァンさんのメッセージについて内容を理解し、発問に答えることができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文に関連する写真を見ながら分かることを教師とのやり取りから理解し、内容を推測する。</li> <li>・ セクション1の内容を理解し、発問に答える。</li> </ul>
	5	<p>【評価規準】 ウー① セヴァンさんのメッセージについて内容を理解し、発問に答えることができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文に関連する写真を見ながら分かることを教師とのやり取りから理解し、内容を推測する。</li> <li>・ セクション2の内容を理解し、発問に答える。</li> </ul>
	6	<p>【評価規準】 ウー① セヴァンさんのメッセージについて内容を理解し、発問に答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文に関連する写真を見ながら分かることを教師とのやり取りから理解し、内容を推測する。</li> <li>・ セクション3の内容を理解し、発問に答える。</li> </ul>

		<p>【評価方法】 ワークシート</p>	
第三次	7	<p>【評価規準】 イー① 読み取り表を参考にしながら、セヴァンさんについての情報を英語で書くことができる。 ウー① 教科書以外に英語で書かれたセヴァンさんの情報について、概要を読み取ることができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループリックを確認し、本時の目標を踏まえた自己到達目標を決める。</li> <li>・Picture Match活動に取り組み、題材についての情報を得る。</li> <li>・4つあるセヴァンさんの物語の1つを読み、概要を理解する。</li> <li>・読み取った情報を、読み取り表を参考に校正し、紹介文を英語で書く。</li> </ul>
	8	<p>【評価規準】 イー① 読み取り表を参考にしながら、セヴァンさんについての情報を英語で書くことができる。 ウー① クラスメートが書いたセヴァンさんの紹介文を読み、概要を読み取ることができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループリックを確認し、本時の目標を踏まえた自己到達目標を決める。</li> <li>・同じ物語を読んだ者が集まって互いの紹介文を読み合い、校正する。</li> <li>・レギュラーグループに戻り、別の情報を読んだクラスメートが書いた紹介文を読み、読み取り表に情報を埋め、4つの情報を整理する。</li> </ul>
	9	<p>【評価規準】 イー① セヴァンさんの物語を通して、「未来へのメッセージ～What can we do for the earth?～」のテーマについて、英語で表現することができる。</p> <p>【評価方法】 ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループリックを確認し、本時の目標を踏まえた自己到達目標を決める。</li> <li>・これまで読んだセヴァンさんについての話をもう一度読み直し、セヴァンさんの人物像や活動を振り返る。</li> <li>・教科書本文内にあるセヴァンさんかの問い掛け “What can we do?”に答える形で、自分の考えを英語で書く。</li> </ul>

6 本時の目標

- (1) 読み取り表を参考にして書いたセヴァンさんの紹介文を改善することができる。  
【外国語表現の能力】
- (2) クラスメートが書いた紹介文を読んで、セヴァンさんの「自分史」紹介文の概要を読み取ることができる。  
【外国語理解の能力】

7 展開(全9時間 本時8/9)

※   は授業改善を図った手立て

	学習活動	教師の働き掛け(○)	評価とその方法
導入	1 ウォームアップ (1) 挨拶をする。 (2) 歌を歌う。〈学級全体〉	○英語を話しやすい雰囲気を作るために、明るく英語で生徒に話し掛ける。	
	2 活動の見通しをもつ。〈個人〉	○活動に見通しをもつことができるようにルーブリックを提示する。	
<p><b>めあて</b> 友だちが書いたセヴァンさんの「自分史」紹介文を読み、セヴァンさんについての情報を集めよう</p>			
展開	3 セヴァンさんの「自分史」紹介文を読み合い、修正する。〈同じ情報を読んだ者で構成されたグループ〉	○より分かりやすい紹介文になるように、クラスメートの助言を基に再構成するよう促す。 ○生徒の作品の中で、他の生徒にとって参考になるものがあれば、途中で全体に紹介する。 ○生徒が協力して修正し合う時間を十分確保する。	イー① ワークシート
	4 セヴァンさんの4つの「自分史」紹介文を読み取る。 (1) グループごとに紹介文を読み、読み取った情報を表にまとめる。 (2) 「自分史」を読んで、思ったことを書く。〈個人〉 (3) 班で答えや思ったことを確認する。〈グループ〉	○レギュラーグループに戻らせ、班で読ませ合う。 ○表は日本語と英語、どちらで書いてもよいことを伝える。 ○自分の心に残った文や言葉について、英語でメモを取らせる。 ○次時のWriting活動につながるように読んだ感想を書かせておく。 ○互いに答えを確認するとともに、思ったことを共有させる。	ウー① ワークシート
まとめ	5 振り返りをする。 ルーブリックを用いて、自己評価をする。〈個人〉		
	6 次時の予告を聞く。	○次時は、学んだことを基に単元ゴールに関わる活動をすることを予告する。	

## 8 本時の評価

評価規準	イー①：読み取り表を参考にし、セヴァンさんの紹介文を英語で書くことができる。 【外国語表現の能力】		
判断するめやす (判定規準)	十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
	セヴァンさんの自分史について5文程度で説明し、自分の感想や考えを付け加えて伝えることができる。	セヴァンさんの自分史について、3文程度で説明することができる。	(B)に達していない記述
→ (B)、(C) と判断した生徒 への支援		→辞書を使用したり、友人の助言を参考にしたりするよう促す。	→ヒントの紙を渡し、自分の意見と似た例文を使うよう伝える。
評価方法	ワークシートへの記述の分析		

評価規準	ウー①：クラスメートが書いたセヴァンさんの「自分史」を読んだの概要を読み取ることができる。 【外国語理解の能力】		
判断するめやす (判定規準)	十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
	セヴァンさんの物語を読んだ、3つの紹介文全ての表を埋めることができる。	セヴァンさんの物語を読んだ、3つの紹介文の表のうち半分以上を埋めることができる。	(B)に達していない記述
→ (B)、(C) と判断した生徒 への支援		→辞書を使用したり、友人の助言を参考にしたりするよう促す。	→答えを探す目安となる単語を示すなどの個別指導を行う。
評価方法	ワークシートへの記述の分析		

①はじめに

My house is in Vancouver, Canada. Last weekend, my father and I went fishing. When I was four, I started fishing. I caught a lot of fish and my mother cooked them. Then my friends, my family and I ate together. Fish, food, and people are connected with each other.

I think that the environment is what connects us. The environment and humans are one. I want to do something to save that environment.

<メモ>

○セヴァンさんの (1 ) はカナダのバンクーバーにある。

○先週、お父さんとセヴァンさんで (2 ) に出かけた。(3 ) は 4 歳から始めた。

○たくさんつかまえて、(4 ) が料理し、(5 ) と (6 ) とセヴァンさんで食べた。

○魚・食べ物・人は (7 )

○セヴァンさんは、自然や環境は (8 ) と感じ、環境と人間は (9 ) だと思っている。

○セヴァンさんは、環境を守るために (10 ) と思っている。

②ECO のはじめ

When I was ten, I went to the Amazon. After I came back to Canada, I talked about it to my friends. In the Amazon forests, I saw a surprising scene. People burned the trees there.

We started "ECO" to learn about the environment. We found many environmental problems. I learned that poor people in the Amazon forests burned the trees to get the land. Then they raise cows to sell there.

<メモ>

○セヴァンさんが (1 ) 歳のとき、(2 ) へ行き、戻ってからその経験を友達へ話した。

○ (3 ) で、(4 ) を見た。それは、人々がアマゾンの (5 ) を燃やしていた。

○ (6 ) について学ぶために、"ECO"というグループを立ち上げた。そこで彼らはたくさんの (7 ) に気付いた。

○アマゾンの森に住む人たちが (8 ) を燃やしていたのは、(9 ) するため、そしてそこで、売るための (10 ) を育てることが目的だった。

③とんでもない思いつき

The adults are concerned with their children's future. But they don't think of the earth's future. We should take action! First we started picking up trash on the beach. Also we sold accessories to get money.

When I was twelve, I learned about the World Summit in Rio. I thought, "We should join the summit to share our ideas."

We went to an event and I expressed my ideas. Then many people gave us money.

<メモ>

○ (1 ) は、子どもの未来に関わっているが、(2 ) の未来を考えていない。だから、(3 ) を起こすべきだとセヴァンさんは考えた。

○1つ目：海で (4 ) ことを始めた

2つ目：(5 ) を売ってお金を得た

○セヴァンさんが (6 ) 歳のとき、リオで行われる (7 ) について学んだ。

○セヴァンさんは「(8 ) ために、サミットに私たちが参加すべき」と言った。

○あるイベントに参加して、自分の考えを話した。そうしたら多くの人々が私たちに (9 ) をくれた。

④空気をとりもどせ

When I was twenty, my friends and I wanted to go across Canada by bike. We went by bike to tell many people, "Keep the air clean."

Our small change can make a big difference. For example, "Do volunteer work," "Don't use too much water," "Go by bike or on foot."

Let's go out and enjoy nature. You have the power and love. The love for your hometown, the love for people, and the love for the earth. "If you change, the world will be a great place."

<メモ>

○セヴァンさんは (1 ) 歳のとき、カナダを自転車で横断したいと思った。

○自転車で行ったのは、「(2 ) を (3 ) に保とう」と訴えるためだった。

○セヴァンさんは、「私たちの (4 ) が大きな (5 ) をもたらす。」と考えています。

○その例が、「ボランティア活動をする」、「(7 ) を使いすぎない」、「移動は (8 ) や徒歩で」です。

○セヴァンさんの思い「外に出て、自然を (9 ) 。あなたにはパワーも愛もある。愛とは、郷土への愛、(10 ) への愛、(11 ) への愛です。もしあなたが (12 ) 、世界は素晴らしい場所になるでしょう。」

資料 1 セヴァンさんに関する資料（絵本の概要英訳）

セヴァンさんの「自分史」を説明しよう。  
 ( )組( )号 氏名( )

評価	Writing	今日の授業を ふり返って…
A	セヴァンさんの自分史について3文程度で説明し、自分の感想や考えを付け加えて伝えることができる。	
B	セヴァンさんの自分史について、3文程度で説明することができる。	
C	セヴァンさんの自分史について、説明することができない。	
自己評価	【 A ・ B ・ C 】	

○セヴァンさんの「自分史」を紹介する英文を書こう。(Let's write the original her "history" in English!)

The picture ( ) Title ( )

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

○お助けシートフレーム

When she was… (当時の年齢)	
What did she do?	
What did she feel?	
What was her message?	
What do "YOU" think? /	

資料 2 ワークシート

友だちが書いたセヴァンさんの「自分史」紹介文を読み、セヴァンさんについての情報を集めよう。  
 ( )組( )号 氏名( )

評価	Reading	記録
A	セヴァンさんの物語を読んで、3つの紹介文全ての裏を探ることができる。	A
B	セヴァンさんの物語を読んで、3つの紹介文の裏のうち半分以上を探ることができる。	B
C	セヴァンさんの物語を読んで、3つの紹介文の裏の半分以下しか探めることができない。	C
記録		

○セヴァンさんについての情報を集めよう！

PictureA Title ( )

いくつの時？	
何した？	
彼女の考え・気持	
心に残るフレーズ	

PictureB Title ( )

いくつの時？	
何した？	
彼女の考え・気持	
心に残るフレーズ	

PictureC Title ( )

いくつの時？	
何した？	
彼女の考え・気持	
心に残るフレーズ	

PictureD Title ( )

いくつの時？	
何した？	
彼女の考え・気持	
心に残るフレーズ	

★What do you think? I think~,because… / I like~,because…

資料 3 ワークシート

セヴァンさんへのメッセージ ～What can we do for the earth?～  
 ( )組( )号 氏名( )

評価	内容	記録
A	これまで得たセヴァンさんの情報を入れつつ、セヴァンさんの問いに答えている。	A
B	セヴァンさんの問いに、自分の答えを英語で書いている。	B
C	セヴァンさんの問いに、自分の答えを英語で書けない。	C
記録		

1、あなたが一番心に残っているセヴァンさんの言葉や彼女の行動は何ですか？

2、What can we do for the earth?

3、Let's write your idea to Ms. Severn!

資料 4 ワークシート



Useful Expression～こんな表現使ってみよう～	
<p>★セヴァンさんの「自分史」紹介文で使える表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• They started "ECO" to learn about the environment. 環境について学ぶために、彼らは ECO を始めました。</li> <li>• For example, ～ 例えば…</li> <li>• She learned that ～. 彼女は～ということを学びました。</li> <li>• Her friends have an interest of the problem. 彼女の友達は、その問題に興味を持ちました。</li> <li>• They called it "ECO". 彼らはそれを「ECO」と呼びました。</li> <li>• She gave a message, "..." 彼女は「…」というメッセージを与えました。</li> <li>• She had an idea, "..." 彼女には「…」というアイデア（考え）がありました。</li> <li>• She used to go fishing with her father. 彼女は昔、お父さんとよく釣りに行ったものでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• She took action to save the earth. 彼女は地球を守るために、行動を起こしました。</li> <li>• First～. Also(Second)～. まず最初に～、また（第二に）～。</li> </ul> <p>★自分の考え・意見を書くときに使える表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I agree with her idea. 私は彼女の意見に賛成です。</li> <li>• It's very important to be active. 積極的になることはとても大事です。</li> <li>• I want to stop breaking it. 私は、それを壊すことを止めたい。</li> <li>• I think we have to learn about the environment. 私たちは環境について知らなければならないと、私は思います。</li> <li>• We must help poor people. 私たちは貧しい人々を助けなければならない。</li> <li>• We must stop breaking it for children and nature. 私たちは子どもたちや自然のために、それを壊すことを止めなければならない。</li> <li>• I think that she is brave. 私は、彼女は勇敢だと思います。</li> </ul>

資料 5 前時の生徒の作品から参考になるものを集めた表現リスト